



広島県尾道市

向東地区家庭教育支援チーム



“親ちから”

親ちからとは・・・？

◎目的は・・・

- ・家庭の教育力の向上を図るため、子育て中の保護者にきめ細やかな家庭教育の支援を行う

◎役割は・・・

- ・地域の子育てサポーターであり、親子を取り巻く関係者の連携のパイプ・コーディネーター役

◎発足は・・・

- ・平成 20 年 9 月 30 日、全国 282 カ所、広島県 8 カ所の 1 つとしてスタート

◎名前の由来は・・・

親のちから + “若い” おやじの力 ⇒ “親ちから”

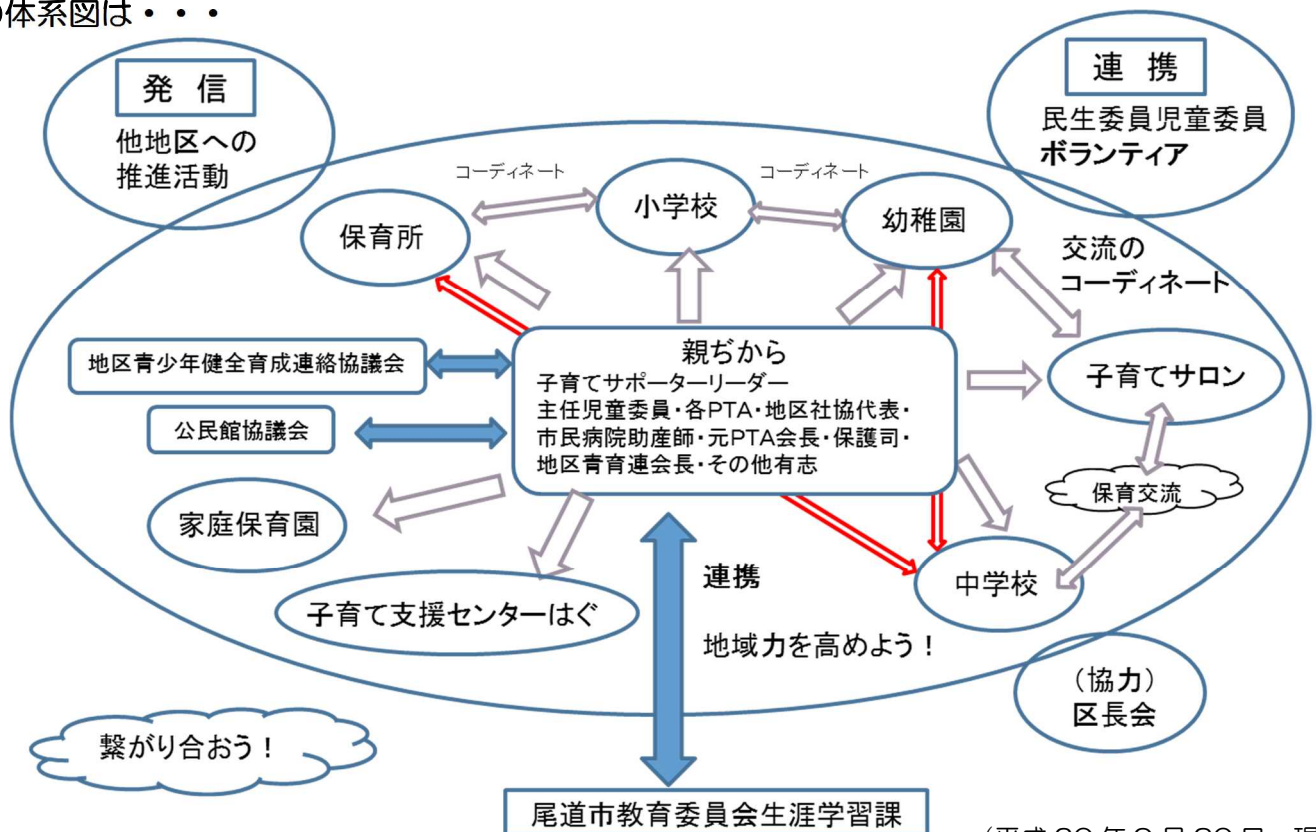
※家庭教育の基盤となるのは、各家庭であり、親のちからが子どもの成長に大きな影響を与える。
また、家庭の柱となるべき若いおやじの力も大いに発揮してほしいとの思いから命名。

チームのメンバー＆体系図

◎メンバーは・・・

子育てサポーター・主任児童委員、幼稚園・小学校・中学校 P T A、保育所後援会、助産師、地区社会福祉協議会、地区青少年健全育成協議会、市議会議員、有志

◎体系図は・・・



(平成 20 年 9 月 30 日～現在)

活動内容は・・・

1. 家庭教育や子育てに関する情報提供
2. 学習機会の提供・・・子育て・親育ち講座の実施、コーディネート
3. 家庭教育基盤作り活動・・・子どもたちへの学習提供・体験活動実施、コーディネート
4. 関係機関との連携と協働
5. 相談対応・・・支援を必要としている家庭・保護者の把握、支援の継続・見守り

その中でも特に、『家庭教育基盤作りの推進と充実』に力を入れています。

H.27～29年度は、『本物に触れよう!』をテーマに、親や子どもたちへの学習・体験活動を提供

- 幼稚園児・・・CAP講座、わらべうた など
- 保育所園児・・・食育、巨大紙芝居鑑賞、絵本作家原画展とお話 など
- 小学生・・・夕顔の取り組み、CAP講座、生と性のお話 など
- 中学生・・・子育てサロンとの保育交流、園児との読み聞かせ交流企画 など
- 地域で・・・オータムコンサート、夏休み・冬休み・春休み子ども教室 など

子育てサロンと中学生3年生の交流



～参加者の感想～

- ・改めて、小さい子ってやっぱりかわいいなと思いました。(男子生徒)
- ・僕には下の兄弟がないのでこれまで子供を抱っこしたことがありませんでした。今日初めて赤ちゃんを抱っこしてみて、温度とか重さを体で体験できて、本当にいい経験ができたと思いました。(男子生徒)
- ・楽しかったし、お母さんにとても参考になるお話が聞けて良かったです。(女子生徒)
- ・毎回来て思うことが、この子が10年後に皆さんみたいに優しいお兄さんやお姉さん達になってくれたらいいなということ、うちの子もこのような機会に恵まれたらいいだろうなということです。(母親)
- ・おもちゃも買ったものばかりなので、こんな風に作ってあげたらいいのかなと思いました。(母親)

※中学校の先生方からも、生徒の違う一面をみることができ、思春期の子供たちにとって、とてもよい体験だと大変好評です。

親子の伝承料理教室(食育)



～参加者の感想～

- ・この講座で“食”の意識が変わりました。
- ・帰って早速、出汁を作ってみました。手間を少しかけることで、普段の料理がかわるんだなと改めて思いました。
- ・和食の美味しさを改めて感じました。

☆今後の展開☆

各PTA・保護者会との連携を深め、親育ちにつながる家庭教育支援の拡充を目指す地域における新たなニーズを把握し、よりよい家庭教育基盤作りにつながる学習の場を提供

問合せ先：尾道市教育委員会生涯学習課

(TEL) 0848-20-7444 (E-mail) shogai@city.onomichi.hiroshima.jp